

算数オリンピックファイナル開催！

移民問題はまだ解決の糸口が見えませんが、そこはひとまず置いておきます。一昨日は8月の算数オリンピック勝者を対象に決勝戦を開催しました。各学年9名の代表がトップ3つの座を争うガチンコ勝負です。総勢54名が算数の知識と技能を競いました。

最初は30分間のペーパーテスト。A4の用紙にして3~4ページの問題を時間内に解く必要があります。その後オーラルテスト。学年毎にテーブルに招集され、先生から問題を読まれます。問題の答えが分かったら静かに手を挙げ、隊員から当てられた子が答えることができます。2人までは間違っても解答権がありますが、その後は解答権がありません。5年生や6年生になると計算の桁が増えたり、分数や小数が混ざったりと、日本語で聞かれても戸惑ってしまうような問題構成でした。



ペーパーテスト中の子ども達。真剣に取り組んでいます。



オーラルテストの最中。ここで逆転も！

これを機に算数って面白いとか、来年こそは勝ち取るぞ、などいろんな思いが彼らの探究心を押し上げてくれれば幸いです。チョルテカの先生や教育委員会、他地域の隊員の協力の下でオリンピックは興奮の後に幕を閉じました。

来年は土井先生もいませんし、現状ではボランティアの数も減ることが予想され、同じように開催できるかどうかは不透明です。

だからこそ、これが子ども達にとって大事な行事なれば、なんとか彼らの力で続けて欲しいと切に願うばかりです。



勝者のどや顔は健在です（笑）



スタッフで採点中です。